

講習の名称	【選択必修】 学校を取り巻く環境変化と学校の果たすべき役割	講習番号	B-1
開催日	平成29年8月7日(月)	定員	80名
主な受講対象者	小学校教諭、中・高等学校教諭		
担当講師	久永哲雄(経済学部教授)・長島康雄(経済学部教授)		
講習の概要	情報化、国際化等の進展や、少子高齢化社会を迎えて学校を取り巻く環境は大きく変化している。その変化に学校や教員が、地域や保護者と連携しながら、どのように対応していくべきかを実践的に検討する。		
講習計画	09:00~10:30 (90分)	学校を取り巻く状況について 文部科学省のデータ等を基に、児童生徒・教員・地域家庭の三観点から学校現場が抱える問題の状況を確認し、事例を通して理解を深める。	
	10:30~10:45	休憩	
	10:45~11:45 (60分)	様々な現場での問題に対する組織的な対応について 公立中高一貫校の新設や生徒指導の多い学校の立て直し手法等の現場での実践例と、マネジメント論から学校の組織的な対応を学び、マーケティング手法でより良い学校づくりを考える。	
	11:45~12:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	12:15~13:00	昼食休憩	
	13:00~14:00 (60分)	学校における防災・安全への対応と地域連携 非常変災時において、学校に求められる役割と児童生徒の安全確保や、学校内外の危機管理上の課題を地域との連携の視点から事例を通して検討する。	
	14:00~14:15	休憩	
	14:15~15:45 (90分)	保護者・地域社会との連携と学校に寄せられるクレーム対応 学校・保護者・地域社会が連携して児童生徒の教育に関わっていくための姿勢の理解や、学校に寄せられるクレームへの対応について事例の検討を行う。	
	15:45~16:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	16:15~16:25	事後評価アンケート	
	成績評価の観点	(1) 学校を取り巻く環境の変化と学校の果たす役割についての理解評価の観点とする。 (2) 学校経営の視点から、学校の危機管理と組織的な対応についての理解を評価の観点とする。	
	備考		